

「第 36 回天文学に関する技術シンポジウム」アンケート結果

技術シンポジウム世話人会

概要

「第 36 回天文学に関する技術シンポジウム」開催後に、参加者の皆さまにアンケートへの回答を依頼した。アンケートの目的は、「本シンポジウムが参加者にとってどれくらい役にたっているのか？そして、今後のシンポジウムをどのようにしていけばよいのか？」の 2 点について、参加者の率直な意見を募集することである。参加者 48 名に対して 16 件の回答が寄せられ、今回のシンポジウムの内容については概ね好意的であった。また、今後取り上げてほしいテーマや今後の運営についての意見を伺ったところ、いくつかの有益な提案をいただいた。この結果を今後のシンポジウムの企画・運営に反映させていきたい。

1. アンケート実施内容

シンポジウム開催後、2018 年 1 月 6 日を期限としてシンポジウムの内容についてのアンケート調査を行った。アンケートの目的は、「本シンポジウムが参加者にとってどれくらい役にたっているのか？そして、今後のシンポジウムをどのようにしていけばよいのか？」の 2 点について、参加者の率直な意見を募集することである。アンケートの内容は以下の通りである。

設問1 所属は国立天文台内ですか？以外ですか？（選択）

設問2 今回の参加形態をお知らせください（選択）

設問3 シンポジウム全体の内容はいかがでしたか？（選択）

設問4 今回新たな試みとして、セミナーを開催しました。内容はいかがでしたか？（選択）

設問5 今回のシンポジウムで得た情報やつながりは今後の業務に役に立ちますか？（選択）

設問6 今後、本シンポジウムに希望するテーマがありましたらご記入ください。（記述）

設問7 その他、本シンポジウム全体でお気づきになったこと、今後の本シンポジウムの運営等に関してご意見・ご要望等ありましたらご記入ください。（記述）

2. アンケート結果概要

アンケートには 16 件の回答が寄せられた。参加者総数 48 名に対して、回収率は 33%であった。回答者の所属の内訳は、国立天文台 9、国立天文台以外 7 でほぼ同数であった（設問 1）。また、参加形態を聞いたところ、発表者 7、聴講者（発表なし）9 でこちらもほぼ同数であった（設問 2）。

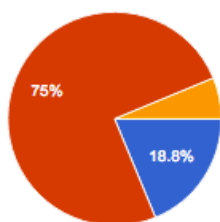
3. アンケート結果詳細：シンポジウム満足度

シンポジウム全体の満足度を聞いたところ、「とても満足」3、「おおむね満足」12、「やや不満」1、「不満」0 となり、おおむね好評であったことがうかがえる（設問 3）。また、今回初めて実施したセミ

ナーについても満足度を聞いた（設問 4）。結果は「とても満足」4、「満足」6、「やや不満」5、「とても不満」0、「聴講しなかった」1 となった。回答者のうち 2/3 程度が内容について満足しているとの結果になった（図 1）。

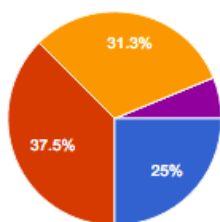
シンポジウムが業務上有益であるかどうかを調べるため、その点についても選択形式で聞いてみた（設問 5）。結果は、「大いに役に立つ」4、「役に立つ」10、「わからない」2、「全く役に立たない」0 であった。参加者はそれぞれシンポジウムに何らかの意義を感じていることがうかがえる。ちなみに「わからない」と回答したのは国立天文台からの回答者であり、特に台外からの参加者については有益と感じている傾向が見られた。

シンポジウム全体の内容はいかがでしたか？ Degree of Satisfaction



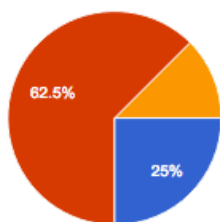
とても満足 Very Satisfied	3	18.8%
おおむね満足 Satisfied	12	75%
やや不満 Unsatisfied	1	6.3%
とても不満 Very Unsatisfied	0	0%

今回新たな試みとして、セミナーを開催しました。内容はいかがでしたか？ About Seminar Session



とても満足 Very Satisfied	4	25%
満足 Satisfied	6	37.5%
やや不満 Unsatisfied	5	31.3%
とても不満 Very Unsatisfied	0	0%
聴講しなかった Not Attended	1	6.3%

今回のシンポジウムで得た情報やつながりは今後の業務に役に立ちますか？ Is this symposium useful for you?



大いに役に立つ Very Useful	4	25%
役に立つ Useful	10	62.5%
わからない Not Sure	2	12.5%
全く役に立たない Useless	0	0%

図 1 シンポジウム満足度調査結果

(上) 全体の満足度、(中) セミナーの満足度、(下) 業務に役立つかどうか

4. アンケート結果詳細：今後のシンポジウムについて

今後のシンポジウムの企画・運営に活かすため、取り上げてほしいテーマ（設問 6）とその他ご意見・ご要望（設問 7）を自由記述形式で記入していただいた。いただいたご意見を紹介する。まず、取り上げてほしいテーマについてのご意見を以下に紹介する。

- 技術シンポジウムのレビュー：歴史、功績、今後のあり方など
- プロジェクト横断的に人的リソースを募って業務を実施する場合の注意点や改善点（ハワイ観

測所、岡山観測所の事例をふまえて)

- 運用・保守の評価
- 今回のセミナーと類似になりますが、ファシリテーションやイノベーション関係は流行りでもあり、日常とは違った刺激が得られ、有意義ではないかと考えています。
- 各ブランチの将来計画

これらのうち、特に技術シンポジウムのレビューについては世話人会の中でも必要性を感じていたところであり、非常に重要なテーマであると考えます。

その他のご意見・ご要望では、より良い運営のための改善提案、シンポジウムの意義についてのご意見、セミナーについての好意的な意見が見られた。以下に、いただいたご意見を紹介する。

- ポスターセッションと懇親会の間があまりにも長すぎた感がありました。
- 一般講演のうち、どの講演がポスターセッションに該当するのか、プログラムまたは予稿集に記載してほしい。
- ポスターセッションを終了する時間が明確でなかったため、開始時刻 16:20 から懇親会が始まる 18:30 までの間と解釈され、間延びした雰囲気になった。終わりの時間を示してほしい。
- 初めて参加されるかたの発表を初日としていただくと、その後の懇親会で話すネタが提供されるので、会話をするきっかけがより増えるのではと思います。
- 初日は全体の交流を目的としたセッション、二日目は分科会的に集まり特定の話題について情報交換といった構成が良いように思います。
- 施設見学があったのは良かった。
- セミナーは、この種のシンポジウムでは異例で、おもしろかったです。技術シンポジウムなので、多少内容が解り難くても、もっと専門的に突っ込んでいってもよいのでは、と感じました。
- 国立天文台も今後はプロジェクト指向がさらに進み、横方向の繋がりが薄くなってしまっているのではないかと危惧しています。これまで通り、これまで以上に横の繋がりを維持するために本シンポジウムを続けてほしいと思います。
- 技術シンポジウム不要論も聞かれましたが、開催場所やテーマに特徴を持たせながら、続けていけたら良いと思っています。

5. まとめ

「本シンポジウムが参加者にとってどれくらい役にたっているのか？そして、今後のシンポジウムをどのようにしていけばよいのか？」の2点について、参加者の率直な意見を募集することを目的として実施した「第36回天文学に関する技術シンポジウム」の参加者向けアンケート結果を紹介した。今回のシンポジウムは好評であったことがわかった。ただし、回収率の低さについては注意する必要がある。今後の課題として、回収率向上の取り組みが必要となるであろう。今回新しくセミナーを実施したが、その内容についてもおおむね好評であった。今後取り上げてほしいテーマを自由記述形式でうかがったところ、いくつかの有益なご意見をいただいた。特に「技術シンポジウムのレビュー」という提案は大変重要であり、世話人だけでなく参加者も巻き込む形で、この技術シンポジウムをより有益なものにし

ていくための議論の機会を設けることの必要性を世話人会でも強く認識した。今回いただいたご意見は、今後の企画・運営に活かしていく所存である。最後に、この場を借りて有益なご意見を寄せてくださった参加者の皆様に感謝したい。